

令和元年度 農業農村整備事業 再評価調査

事業名	広域農道整備事業	地区名	よしのがわちゅうぶにき 吉野川中部2期 地区
事業主体	徳島県	関係市町村	美馬郡つるぎ町
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は吉野川中流域の南岸に位置し美馬市穴吹・つるぎ町境の県道端山調子野線を起点として、(旧貞光町)長木、柴内、宅熊、を通過し、(旧半田町)東久保の県道上蓮小野線を終点とする19.1kmのうち6.7kmを実施する農道整備事業である。</p> <p>地区内の道路は、中山間部の地形的要因から整備水準が低く地区内を東西方向に貫く基幹道路が無いことから、農産物輸送はもとより、日常の生活にも支障をきたしている。</p> <p>このため、本農道を整備することにより、農産物輸送の合理化と輸送労力の節減を図るとともに、併せて農村の生活環境の改善に資するものである。</p> <p>(事業内容)</p> <p>受益面積 1,826ha 受益者数 3,560人 主要工事 農道工6,700m 全幅員7.0m(車道幅員5.5m) 総事業費 7,020,000千円(国50%:県40%:町10%) 工期 平成7年度～令和3年度</p>		
	評価項目	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>本地区は、地形が急峻な区間が多く、法面保護(アンカー工,法枠工等)による対策工や地すべり地での対策工(軽量盛土工)が必要となっていることから工期の長期化を余儀なくされているが、1.5車線の整備などの弾力的な規格値の採用等も含めコストの縮減を図っており、令和元年度末までの進捗率は事業費ベースで93.1%となっている。</p>	
<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>特になし</p>			
<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>本地域では、農業従事者の高齢化と農業後継者の不足により営農状況は厳しくなっている。このため、基幹となる農道の新設により、輸送体系の合理化による輸送労力の節減及び営農労力の節減を図ることが重要になってきている。</p>			
<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>特になし</p>			
<p>(事業効果の発現状況)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 農産物の市場等への輸送時間が短縮され、効率的な農業が展開されている。 2 農協等への往復時間が短縮され、各種生産資材の搬出搬入が容易となっている。 3 林業の営林経費・走行経費が軽減され、林業の促進に寄与している。 4 集落間の一般交通や土砂崩壊防止等の多面的機能の機能が発揮されている。 5 総費用総便益比=総便益/総費用=1.35 			
<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>関係町、地元受益農家から、早期の完成が要望されている。</p>			
<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>			